

持続可能なニュータウンに向けた トランジション・マネジメント

みそのウイングシティにおける実験

松浦正浩, Ph.D.

専門職大学院ガバナンス研究科

(公共政策大学院) 専任教授

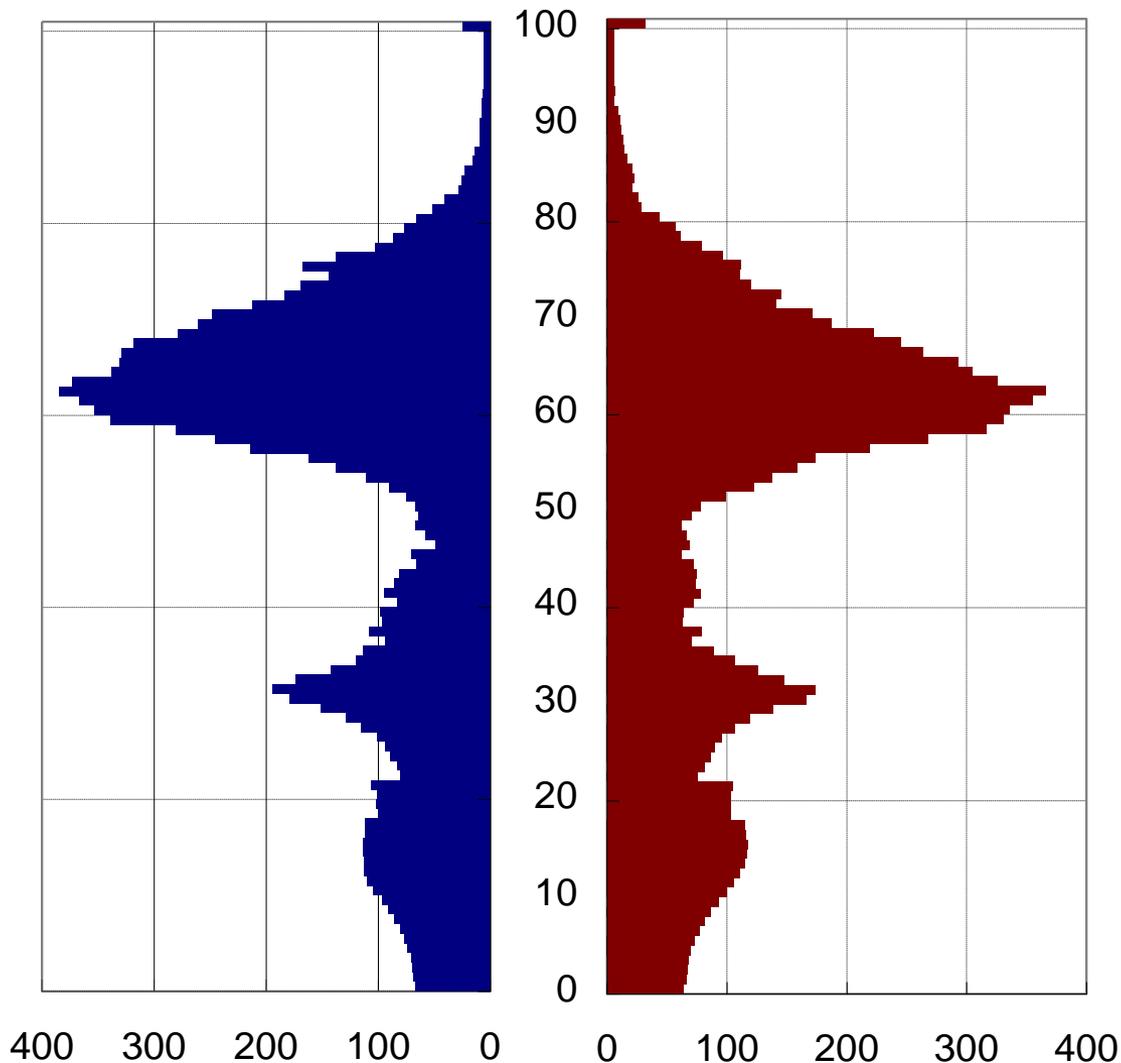


明治大学
MEIJI UNIVERSITY

美園地区の持続可能性 (サステナビリティ) リスク (危険性)

- 急速な高齢化（2050年頃）、人口減少
- マイカー依存、大渋滞
- 生活パターン（ライフスタイル）
 - 埼玉都民（東京の経済に依存、帰宅難民）
 - 購買行動（大型SC・チェーン店、非地産地消）
- 気候変動・自然災害リスク
- 脱炭素社会への大転換対応

美園の2050年人口ピラミッド (推計)





埼玉SS226
Saitama SS226
所沢
Tokorozaki
浦和
Utsunomiya
越谷
Koshigaya
463
463

パスタ専門店
Jelly Pasta
9時~11時
専用駐車場 16台

2017年11月18日
第1回ワークショップ



Misono 2050

11/18/2017 Workshop Meeting

Participant Signatures

美国スタジアムタウン憲章

新価値創造都市・美国
多世代健康都市・美国
次世代環境都市・美国

制約条件：高齢化／人口減少、気候変動、脱炭素社会、交通、社会経済の変化・・・

持続可能な美国（ビジョン）

美国でまわる美国

これまでにない新しい
郊外生活モデルの実現

便利 静穏 地域のつながり、
ソーシャルキャピタル

縦型農業
都市型農業

運動しやすい道路環境 中核病院

エネルギーの自給自足
太陽光発電と 余剰エネルギーは
電気自動車 共有

アクション

BID (駅前)
集客者の寄附による
まちづくり資金調達

クラウド
ファンディング

地権者の協力

再生可能エネルギーの
活用

イオンの屋上
蓄電池整備
売電収益

心地よい
居場所づくり

仮設トイレの
レンタル

仮設構造物で
イベント

子供食堂

密度を教える

Misono 2050

11/18/2017 Workshop Meeting

Participant Signatures

美国スタジアムタウン憲章

新価値創造都市・美国
多世代健康都市・美国
次世代環境都市・美国

アクション

コミュニティ

地元の情報共有できる
誰でも書き込める掲示板
を油和美駅に設置
(アナログで)

日常からまちづくりに
かかわれる仕組みづくり

SNSで情報発信
(試合観戦時に美国の
街のこともつぶやく)

スポーツ

ランニングサークルで
もっと美国を走る

ランニング環境を拡充
さいたまマラソンの
コースに常設案内板を設置

調整池周辺の草刈り・美化で
もっと走りやすく、遊びやすく

地域の運動会の開催
定期的にマラソン
大会開催

農業

ファーマーズマーケット
(月に1度、住民が集う
場として)

食のイベントとパブリック
ビューイングの同時開催
(農家さん巻き込み)

美国で農業を
経験できる状況に
(貸農地など)

働き方改革

モール内の喫茶店・休憩用
椅子でコワーキング
キャンペーン実施

コワーキングサークル
立ち上げ、サークルで
空家を借りる
(ニーズの顕在化)

自宅勤務者のコミュニケー
ション基元 (飲み会など)

制約条件：高齢化／人口減少、気候変動、脱炭素社会、交通、社会経済の変化・・・

持続可能な美国（ビジョン）

東川口・越谷方面の人々も「美国」を名乗る状況

清和レッズのアイデンティティ
本拠地が埼玉であり続ける

教会・聖地としての地スタ
観戦はVRが主流化している可能性も

埼玉スタの多目的利用化 特徴ある参道化 (大宮の羽川神社のように)
サッカー以外のイベントにも使える

調整池の利活用 高齢者向け健康施設設置 (観戦以外の利用)

カヌーなどさまざまな利用

自転車道の整備 埼玉への動線、わき道へも引き込む

自宅勤務者や高齢者の交流が活発

パスターミナルの整備 埼玉スタのグラウンドをもっと地域に開放

東北道のICとの連携
新都心、空港へのバス交通

子供が駅周辺のマンションに居住 (近居)
多世代居住、既存保育園の継続活用
働き方の自由度が高まる

アウトドアオフィス
イオンの一部がコワーキングスペースに
地元高校生による起業

(持続可能ではない美国)

現在の美国 (課題)

地スタイベントの影響
まちの雰囲気が大きく異なる
埼玉スタのトイレ

エネルギー循環の不足

住民のつながりが希薄

住民の多様性がない

資金調達の課題

コワーキ

2017

現在の美国 (課題)

狭いエリアに特定の世代が集住
保育園が多い

周囲に学校が多い (通学など)

駅とICの近接性
清和美駅で集合し乗り合いで
ゴルフ場へ行く人たちの存在
東西方向の交通に対するニーズが
不明瞭

惜られる農地がない

2017

2050

持続可能な美園に向けた、わたしたちのアクションアイテム

持続可能な美園に向けて、わたしたちがいま、始められそうなことを、参加者のみなさんとリストアップしました*。

できることから、すこしずつ、始めてみませんか？

1) 人々の交流を活性化しよう

コミュニティ（ソーシャルキャピタル）を盛り上げよう

- ・ SNSでレッズ戦以外にも街の魅力を情報発信（ハッシュタグを決める）
- ・ 日常的に気軽にまちづくりに関われるイベントの開催
（UDCMiの取り組み⇒まちづくり茶話会）
- ・ 自由にカキコミできる掲示板（アナログ）を浦和美園駅に設置
- ・ 地域の人々が自然と集まる心地よい居場所づくり（子供食堂、歩行者天国など、テントなど仮設で十分）



2) 農業と一体となってまちづくりを進めよう

- ・ ファーマーズマーケットの開催
（住民間交流の場としても活用）
（UDCMiの取り組み⇒みそのいち）
- ・ 美園の食とコラボしたパブリックビューイングイベント（農家さん巻き込み）
- ・ 貸農地、体験農園、農業体験機会の拡充



3) もっと美園でスポーツを楽しもう

- ・ ランニングサークルでもっと美園を走る
- ・ 調整池（周辺）の草刈り・美化で、もっと走りやすく、遊びや
（UDCMiの取り組み⇒デザイン方針）
- ・ 地域の運動会の開催
- ・ さいたまマラソンの設置



* すぐに始められそうなことから順に並べてあります

UDCMi Misono2050 で検索！

4) 埼玉都民ではない美園での働き方を実践しよう

- ・ モール内（喫茶店、休憩スペース）で
コワーカー交流イベント開催
- ・ 自宅勤務者のコミュニケーションイベント
（飲み会など）
- ・ コワーカーサークルの立ち上げと
コワーキングスペースの賃借



5) 若者・外国人をもっと呼び込もう

- ・ 南北線沿線の大学生に対して美園の
賃貸物件をアピール
- ・ 留学生・女性等に対して積極的なアピール
- ・ 地域密着起業の誘致、起業支援オフィス



6) 美園で循環する新たな資金調達メカニズムをつくってみよう

- ・ 地域の篤志家、地権者等からの
寄附による基金
- ・ クラウドファンディング
- ・ B I Dの導入



7) 地域でエネルギーを循環させよう

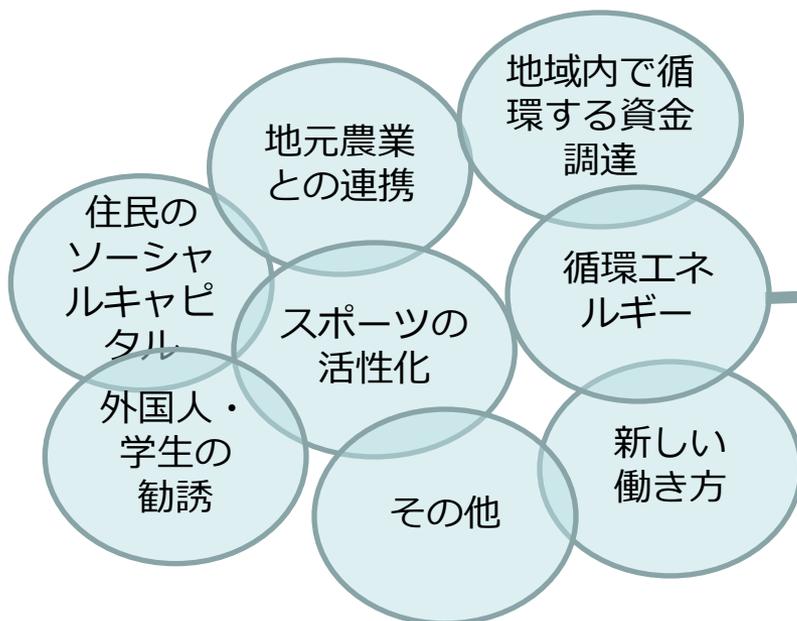
- ・ 再生可能エネルギーの利活用
・ ショッピングモールの屋上等を活用
・ 蓄電池の整備、売電収益の可能性
（UDCMiの取り組み⇒低炭素型住宅の
普及促進）



- ・ 浦和TJと浦和美園駅の近接性を積極的に活用した取り組み
- ・ バスターミナルの整備（空港・高速バス）

2017年第1回 ワークショップの 結論

いま、始められそうなこと



2050年のビジョン

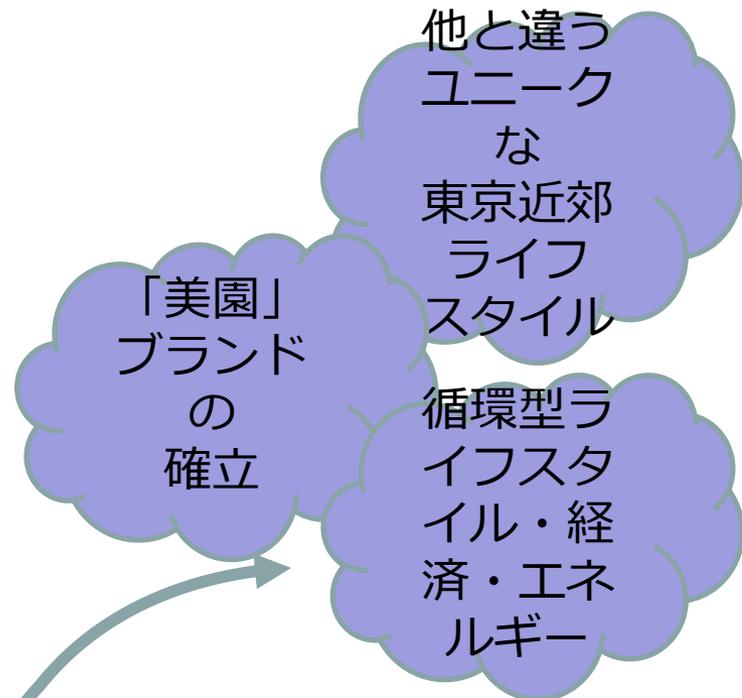


表-1：ワークショップ会合の検討結果（長期的視点と短期的視点の再接続）

いまからできること のアイデア（大項目）	評価の視点					既往計画・ 事業との整合 性
	方向性の提示			地元へ刺激	エンパワメント	
	1	2	3			
1) 人々の交流を活性化しよう コミュニティ (ソーシャルキャピタル) を盛 り上げよう			○	目立つイベント で住民を刺激	住民自身が企画、 投稿	まちづくり茶 話会
2) 農業と一体となってまちづ くりを進めよう	○		○	地権者・農家を 直接巻き込み	地権者と新住民 が対等に参加	みそのいち
3) もっと美園でスポーツを楽 しもう		○		運動会等で住民 を巻き込み	住民自身が企画 運営	都市デザイン 方針
4) 埼玉都民ではない美園での 働き方を実践しよう	○		○	新ビジネスが地 元経済を刺激	東京経済依存か らの脱却	
5) 若者・外国人をもっと呼び込 もう			○	異文化・若者の 存在が刺激	若者・外国人の 対等化	
6) 美園で循環する新たな資金 調達メカニズムをつくってみ よう			○	新たな資金循環 が地元経済を刺 激	地区外資本に依 存しない資金循 環	
7) 地域でエネルギーを循環さ せよう			○	屋上太陽光など 個人世帯へ波及	エネルギーの自 立	低炭素型住宅 の普及促進
8) その他（インフラ整備）	○			（該当なし）	（該当なし）	都市デザイン 方針

方向性の提示：1 = 「まったく新しい美園モデル（郊外居住）の実現」 2 = 「美園ブランドの確立」
3 = 「美園のなかで循環する生活、経済、エネルギー」

これからの課題

- “Sustainability”の強調
- トランジション実験（地元の先駆的活動）の再整理、誘導
- スケールアップ
 - Early adoptersへの波及（「高感度」な人たち）
 - Early majorityへの一般化（「ふつう」の人たち）
- テレワーク層の地元定着